

2025 年 8 月 1 日

沖縄がん診療連携協議会

委員各位

医療部会長

伊江将史

(県立中部病院外科部長)

医療部会及び幹事会において、2040 年を見据えたがん医療提供体制の集約化と分散化に関して協議を行い、以下のように意見が収束しましたので、協議会において、審議をお願いします。

2040 年を見据えたがん医療提供体制の集約化と分散化に関する今後の協議会の方針

<総論>

- 1 2040 年を見据えたがん医療提供体制の集約化と分散化に関しては、厚生労働省のこれまでの「がん診療提供体制のあり方に関する検討会」での審議に準じて、当協議会が中心となって、今後も議論を進めていくこと
- 2 今後の集約化と分散化を円滑に進めるためにロジックモデルを用いて計画を立てること
- 3 上記ロジックモデルの指標を経時的に測定し、協議会で評価を行うこと

<各論>

- 1 集約化と分散化を図るための選定条件の見直し期間を現行の 6 年ごとから、3 年ごとにすることを、沖縄県に提案する（別紙資料 9－3 参照）
- 2 集約化と分散化を遂行するために、県内医療機関、医療者、県民に対して啓発活動を、協議会として行うこと（別紙資料 9－4 参照）